

かながわ教育ビジョン  
「心ふれあう  
しなやかな人づくり」

学校教育目標  
「かしこく やさしく たくましく」  
インクルーシブな学校をめざして  
～ みんながすこしやすい学校を みんなでつくろう～

伊勢原市教育大綱基本理念  
「人がつながり未来を  
拓く学び合うまち」

<やさしく>みんなが なかよし あたたかい

- 行動目標：「あいさつをして、なかよくなろう！」
- ・自他を尊重し、相手を思いやる優しい子
  - ・人のために進んで働き、自分の責任が果たせる子

<たくましく>こころもからだも元気!元気!

- 行動目標：「粘り強くがんばろう！」
- ・自己肯定感・有用感をもち、しなやかな心をもつ子
  - ・粘り強く取り組み、自身を成長させられる子

<かしこく>わかった!できた!おもしろい!

- 行動目標：「自分の考えをもって、学び合おう！」
- ・学び合いながら、自分の考えを広げたり深めたりする子
  - ・自ら気づき、考え、判断し行動できる子

何ができるようになるか  
○育成を目指す資質・能力

- ・日常生活における人との関わりの中で、必要な思考力・判断力・表現力等を身に付ける。
- ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を身に付ける。
- ・健康・安全な生活を送るための基盤を培う。

何が身に付いたか  
○学習評価の充実

- ・児童一人一人の良い点や成長の状況等を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにする。
- ・指導と評価の一体化の観点から、児童自ら学習の進め方を改善していけるよう指導・支援する。

子どもの実態

- ・友達に優しい子が多い。
- ・朝会などで、静かに話が聞ける。
- ・素直に感情を表現できる。
- ・自分に自信がない。
- ・登校時間に大きな幅がある。
- ・家庭学習の習慣が十分身に付いていない。

子どもの発達をどのように支援するか  
○配慮を必要とする子どもへの指導

- より多くの目で多面的な児童理解
  - ・職員間の情報共有及び外部機関との連携により、チームで支援する。
- 特別支援教育の視点を生かした指導
  - ・指導補助員、介助員、スクールカウンセラー等と連携し個々の教育的ニーズを把握し支援する。

具体的な目指す子どもの姿

- ・友達の良さや自分の良さに気付く。
- ・達成感や成就感を味わい、自分に自信をもつ。
- ・さらに伸びようと自ら意欲的に学ぶ。

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性」の育成
- ・言語能力（自分の思いや考えをまとめて表現する力）
- ・情報活用能力（プログラミング的思考、情報モラル等）
- ・SDGsの実現を目指す教育

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ・体験学習や学習意欲を喚起する発問・教材教具の工夫
- ・互いに学び合い高め合う話し合いや発表の工夫
- ・日常の学習においてねらいとふり返りを大切に、適切な評価を行う
- ・自己調整しながら学習を進めていくための支援

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

<教員の資質能力の向上>

- ・研修（特別支援教育の視点から）
- ・校内研究（インクルーシブ、学び合い）
- ・日頃から互いに授業を見合い、児童の育ちを中心に話題にできる、雰囲気醸成

<指導体制の充実>

- ・低学年の合同授業、中学年の専科指導、高学年の交換授業と専科指導など、教科担当制の実施
- ・個別指導や特別支援学級における指導の充実

<家庭や地域との連携・協働>

- ・年2回の個々面談等による家庭との連携
- ・幼小中の連携によるスムーズな接続
- ・市の子ども家庭相談課や教育センター、県の児童相談所等との連携による児童や保護者の相談支援

安心・安全を守る

<安全教育の実施>

- ・交通安全教育（1年交通安全教室、登校指導、下校訓練）
- ・防犯教育（不審者対応訓練）
- ・防災教育（避難訓練、引き取り訓練、シェイクアウト訓練）
- <教職員の研修・訓練>
- ・普通救命救急、エピペン使用法研修、火災通報訓練

地域とともにある学校

- ・家庭、地域へ教育活動内容の情報発信・受信（学校だより、学年だより、学校WEBサイト）（学習参観、学校評価アンケート）
- ・コミュニティスクール（学校運営協議会・学校地域協働活動）により、地域と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって児童を育む